

授業科目 人間理解と援助

【担当教員名】 柴山悦子	対象学年	1	対象学科	全科共通
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

概要

身体的・精神的に障害を持つことによって出現する生活上の種々の問題は、本人と家族あるいは関係者との人間関係にもまた種々の問題をもたらす。そしてそれらの問題は、多くの場合専門的援助なくして解決（軽減）は難しい。

これは医療・福祉の領域に携わる者として共通に理解していることである。専門過程を学ぶに先立ち、この理解を深めることを目的とする。

学習目標

1. 家族の人間関係を学ぶ。
2. 地域での人間関係を学ぶ。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1～3		第一章を読み、家族構成、家族関係、構成員の身体的・心理的理解を深める。	講義、グループに分けての討議、グループごとの発表等、講義進行状況をにらみつつ決めていきたい。
4～6		第二章を読み、介護に携わる家族の心理的葛藤や、家族間の葛藤を理解する。またどのような社会的支援があったか学ぶ。さらにどのような専門的支援があればよいだろうかということも考察する。	
7～9		第三章を読み、「第二章」同様のことを考察する。	
10～12		第四章を読み「人の死」ということを理解しようとする。そのことを通して人（学生一人一人）が生を受け、成長してきた過程を降り返りつつ、今後の学習や職業生活のことまで考えてみる時間を持ちたい。	
13～15		第五章を読み、これまで理解し、考察してきたことをさらに深める。	

【評価方法】

出席状況、質問や発表内容、試験等から評価する。

【履修上の留意点】

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
	『黄落（こうらく）』 （テキストとしての扱いではないが、この本を精読し考察を加えたいと考えている）	佐江衆一	新潮文庫	552円